

官報 號外 昭和七年六月九日

號外 昭和七年六月九日

第六十二回 帝國議會 貴族院議事速記錄第五號

昭和七年六月八日(水曜日)午前十時七分開
議

議事日程 第五號
昭和七年六月八日

第一 國務大臣ノ演説ニ關スル件（第
四日）
第二 市町村義務教育費國庫負擔法第
三條ノ特例ニ關スル法律案（政府提
出、衆議院送付）
第三 手形法案（政府提出）
第一讀會

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報
告ヲ致サセマス

〔近藤書記官朗讀〕
昨七日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セ

市町村義務教育費國庫負擔法第三條ノ特例ニ關スル法律案

長ノ氏名左ノ如シ
委員長 伯爵柳澤 保惠君
副委員長 男爵大井 成元君

同日内閣總理大臣より、支那事務局長官に委託
ケラレタル旨ノ通牒ヲ受領セリ
第六十二回帝國議會農林省所管事務政府
委員

農林書記官 井野 碩哉君
同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ
請願委員會特別報告第一號

官報號外
昭和七年六月九日 貴族院議事速記錄第五號

明イタシマス、市町村ノ廢置分合又ハ境界

〔木場貞長君演壇ニ登ル〕

西清二十五年三月三十一日

木場貞長君演壇二登九

○木場貞長君 委員長が病氣缺席ノ爲ニ私カラ報告イタシマス、委員會ハ一昨六日位ニ二回開ケンテアノフ、七日三回開ケンテアノフ。本題トシテ、市町村義務教育費國庫負擔金支拂三率ニ見三、(續)二、所

庫賃據法第三條ノ規定ノ適用ノ關係上、新
ニ市ニ屬スルニ至、タ地域ニ付キマシテハ、從
來町村トシテ交付ヲ受ケテ居リマシタ義務
始ニセキ日二回開キマシタ先ツ正副委員長
長ノ選挙ヲ終リマシテ、直ニ議事ニ入り、當
局大臣ノ説明ヲ聽キマシテ質問ニ入りマシ
タ。

教育費國庫負擔法第三條後段ノ交付金ヲ、
市ハ將來受クルコトヲ得ザルニ至リマスル
結果、國庫下渡金ノ急激ナル減少ヲ來スコ
シタ、質問應答ハ七日ニ續行シマシテ、其
末愈々逐條審議ヲ終ヘマシテ、全法案ハ何
等ノ修正ヲ加フルコトナクシテ可決スベキモ

トナリマシテ、教育上ニモ財政ニモ著シ
イ支障ヲ生ゼシムル虞レガアル場合ガアリ
マスルカラ、之ニ對スル適當ナル緩和策ヲ
ノト決定イタシマシタ、少シク説明ヲ加ヘマ
ス、此手形法ハ爲替手形ト約束手形ヲバ國
際的ニ統一スルコトヲ目的トシテ制定セラ

講ズルノ必要ガアルモノ認ムルノデアリ
マス、殊ニ本年十月一日ヲ以チマシテ、東
京ニ至ル、上京ニ至ル、合計八百二十日
レムトスルモノデアリマシテ、單行法ノ形
ヲ以テ出來テ居リマス、而シテ商法ノ第四
編第一章、第二章、手続、約束手形並

京市ニ於テ近接ハ八十一箇町村ヲ合併スルニ
トニナフテ居リマスル關係上、此議會ニ本案
ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、何卒
替手形ニ關スル部分ヲ削除シテ之ニ代ラム
トスルモノデアリマス、抑此統一手形法ノ

○議長（公爵志川家室君）　特別委員ノ氏名
御審議ノ上御協賛下サラムコトヲ御願ヒ致シマス
制定ニ付キマシテハ、一昨年國際聯盟ノ招聘ニ依リマシテ「ジュネーヴ」ニ手形法規統一ヲ目的トスル所ノ國際會議ガ開カレマシ

（書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス
〔山本書記官朗讀〕
モ五月五日之ニ調印シテ居リマス、之ニ依リタ
タ、其結果ト致シマシテ手形統一法ヲ制定
スル條約ガ出來上リマシテ、我ガ帝國ノ代表

市田木義務教育費國庫負擔法第三條
例ニ關スル法律案特別委員会
侯爵中御門經恭君 子爵東園 基光君

子爵織田信恒君
松浦鎮太郎君
桑山鐵男君
磯貝浩君
男爵紀俊秀君
若林賛藏君
内法トシテ國ニ施行スルノ義務ヲ負フ
コトニナツテ居ルノデアリマス、而シテ批准

○議長（公爵徳川家達君）手形法案、政府
ノ期限ハ本年八月三十一日限トナリテ居リ、
又國際聯盟ニ於ケル常任理事國三箇國ヲ含
ミ、七箇國ノ批准ヲ了スレバ此統一法ハ效

提出 第一議會ノ總委員長報告 木場副
委員長 〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ
力ヲ發生スルノデアリマス、右様ノ次第デ
ゴザイマスルカラ、御批准ヲ仰ガムトスル
ニハ、我國ニ於テモ國際會議ノ統一法規ト

外メ好ニ電銭ス以丁之ニ俟フ
手形法案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及
同一ノ法律ガ制定セラルコトヲ必要條件
ト致スノデゴザイマス、ソレガ爲ニ先づ臨
吉田義宣・大庭貞・尾澤貢・尾澤貢・三

報告候也
昭和七年六月七日
副委員長 木場 貞長

貴族院議長公爵徳川家達殿
上多大ナル不便不利ガアリマスルノデ、關係

テ、永年ノ間ニハ苦痛ガ少ナクナイノデアリマシ
テ、頻リニ之ヲ唱道セラレタノデアリマスル
ガ、明治四十五年ニハ海牙ニ於キマシテ手
形法規統一萬國會議ガ開カレ、一ノ成案ヲ
得ルマデニ至タノデアリマス、然ル所世界
大戰ガ起リマシタノデ、其儘頓挫シテ居リ
マシタノヲ、一昨年國際聯盟ノ招聘ニ依リ
マシテ、更ニ今申スマスル所ノ國際會議ガ
開カレマシテ、此國際會議ニ於キマシテ、
四十五年ノ海牙案ヲ多少修正イタジマシテ
成立イタシマシタ、即チソレガ今度ノ統一
案デアルノデアリマス、而シテ此統一案、
統一法規、即チ此度ノ手形法案ハ我國ニ於
キマシテモ永年研究調査ヲ經タモノデアリ
マシテ、學者竝ニ實業家ノ間ニ於キマシテ
モ議論ノナイ所デアルト云フコトデアリマ
ス、尙ホ之ヲ我國現行ノ手形法規ニ比シテ
見マスルニ、一段ノ進歩改良ヲ加ヘタモノ
デアリマシテ、既ニ法制審議會、日本銀行、
正金銀行、商業會議所等ノ支持諒解ヲ受ケ
テ居ルモノ、ヤウデアリマス、終リニ臨ン
デ一言附言シテ置キマスルガ、英米露支等
ノ國ハ此條約ニハ加盟シテ居リマセヌ、英
米ノ如ク我國ト取引關係ノ最モ大ナル國ガ
加盟シテ居ラヌト云フコト、此統一法カラ
受クル所ノ效果ガ半減セラレルヤウナモノ
デ、誠ニ遺憾ノ次第デアリマスガ、英國ハ
本來ガ習慣法ヲ尊ブ國デアリマシテ、斯ノ
如キ成文法ヲ今定ムコトハ困難ノ事情ガ
アル、又米國ハ聯盟ニ加フテ居ラヌノミナラ
ズ、各州ニ於テ手形法ガ區々ニナシテ居タ
ノヲバ、非常ナル努力ヲ以テ漸ク統一シテ
マダ日ガ淺イノデ、今又之ヲ改正スルコト
ハソコニ非常ナル苦痛ガアルノデアリマ
ス、ソレ等ノ事情テ兩國ハ加シテ居リマセ
ヌガ、併ナガラ其内容ハ英米ノ法律ノコト
モ考慮ニ入レテ出來テ居リマスルノデ、永
キ月日ノ中ニハ之ニ合流加盟スルノ望モナ
イデハナイノデアリマス、就キマシテハ此

度ニ是等ノ國々ガ加盟セザレバトテ、此度ノ手形法案ヲ否決スルニハ當ラヌコトヘ申ス迄モナイ次第アリマス、委員會ニ於キマシテハ種々ノ問題、殊ニ相當根本的問題ニモ觸レテ研究論議ヲ重ネマシタガ、討議ニ入リマシテハ何等ノ議論モナカッタノデアリマス、異議モ出ナカッタノデアリマス、ソレデ一々其質問應答ノコトヲバ御紹介スルコトハ之ヲ略シマシテ、議事錄ニ於テ御覽下サルコトヲ願タ方ガ賢明デハナカラウカト存ジマスノデアリマス、以上ノヤウナ次第デ委員會ニ於キマシテハ質問ヲ試ミラレタ人達モ含ンデ、全會一致デ、此案ハ此儘贊成スベキモノデアル、可決スベキモノデアルト云フコトニ決定イタシマシタ、右御報告イタシマス

○土方寧君 一二三ノ質問ヲ致シタイ
○議長（公爵徳川家達君） 政府ニ對シテデスカ

○土方寧君 演壇ニ登ル

○土方寧君 私ハ本案ニ付キマシテ二三ノ質問ヲ致シタイコトガゴザイマス、第一ハ此手形法案ハ、手形法統一條約ノ参考案ニ據タモノデアリマスガ、特別委員會ノ速記録ニ付テ見マスト云フト、マダ樞密院へ御諮詢ニナツテ居ナイヤウデアル、何レ貴衆兩院ヲ通過シマシタ後ニ御裁可ニナル前ニハ、樞密院へ御諮詢ニナルコト、思ヒマスガ、若シ此法案が貴族院若クハ衆議院デ幾分ナリトモ修正ニナリマシタ時ニハ、條約ヲ御批准ナサルニ付テ支障ガ生ズルモノデアラウカドウカト云フコトニ付テ、政府當局ノ御意見ヲ拜聽イタシタイ、ソレガ一ツデアリマス、モウ一つハ特別委員會ノ速記錄ニ依テ見マスト云フト、只今モ委員長ノ御報告中ニモアリマシタ通リニ、此統一法ノ條約

ニハ英米トモ加入シテ居ナイト云フコトデア
ル、ソレガ委員會デ政府委員カラ説明ニナッ
テ居リマス、思ヒモ依ラヌ間違ヒガアリマ
ス、ソレ程詳シイコトハ仰シヤイマセヌ
ガ、委員長モ只今同様ノコトヲ仰シヤイマ
シタ、マサカ特別委員會ノ速記ガ英米人ノ
眼ニ觸レルコトモアリマスマイガ、若シ此
委員會ノ速記ノ趣意ガ英米人ノ知ル所ニナ
リマシタナラバ、實ニ驚クグラウト思フノ
デアリマスカラ、此事ハ一言質シテ見タイ
ト思ヒマス、併シ政府委員ガサウ云フ風ニ
御説明ニナッタノハ何カ據ル所ガアルカモ
知レマセヌガ、念ノ爲ニ伺ヒマス、委員會
ニ於キマシテ山川君ノ質問ニ對シテ長島政
府委員ノ御答辯中ニ……全部ハ讀ミマセヌ、
英吉利ガ條約案ニ加盟シテ居ナイト云フ
理由ニ付キマシテ斯様ナコトガ書イテア
リマス、「英吉利ハ御承知ノ通リニ總テ、殊
ニ此手形ニ關スル法律ハ私ハ能ク存ジマセ
ヌガ」ト云フ斷リガアリマスガ「先づ慣習
デ發達ヲシタモノダサウデアリマシテ、其法
規ト云フモノガ餘り完全シテ居ラナイサウ
デアリマスカラ、サウ云フ關係カラ英吉利
ハ、必シモ此統一法案ノ内容ニ付テハ反對デ
ハナイノデアリマスケレドモ、極些細ノ點
ノハ困難ナヤウデアリマス、「云々ト云フヤ
ウナコトガ書イテアリマス、是ハ大變ナ間
違デアリマス、御承知ノ通リニ、英吉利ノ
法律ハ概シテ判例ニ示ス所ノ不文ノ慣習法
デアリマス、サウカト云々テ成文法モ澤山ア
リマス、特別法ノ性質ノモノデアル、手形
法モ長イ間不文ノ慣習法デアリマス、尤モ
來タ、ソレガ「ナボレオン」ノ商法典ニ編入

セラレタ、其法典ニ據バ國ガ澤山アリマ
ス、獨逸ハ獨逸デ又別ニ新シイ所ノ法律ガ
出來タ、ソレガ又獨逸流ノ國ニ傳テ居リ
マスガ、英吉利ノハ政府委員ノ仰シヤルヤ
ウニ長イ間不文デアリマス、ケレドモ「チ
ヤルマース」ト云フ人ガ不文ノ手形規則ヲ
成文ニ私ニ書キマシテ、之ヲ著書トシテ出
版シテ長イ間行ハテ居リマシタ、サウシ
テ實業界ハ若シ手形規則ガ斯ノ如ク簡単ナ
法文ニ書イテ正確ニ示スコトガ出來ルモノ
ナラバ不文法ハ搜查ニ不便デアル、素人ニ
ハ誠ニ分リニクイケレドモ、成文ナラバ大
體分ル、是ハ宜カラウト云フコトデ銀行家
其他實業者ノ希望ニ依フテ、時ノ政府ハ其著
者ノ「チャルマース」ニ嘱シテ政府案トシ
テ、其時ニ多少字句ハ變ヘマシタケレド
モ、提出シテ貴衆兩院ヲ通過シテ、千八百
八十二年以來成文法ニナツテ居リマス、其實
驗ニ徵シテ亞米利加デモ、御承知ノ通リ亞
米利加ハ四十八州何レモ別々ノ立法機關
及司法裁判所モアリマスケレドモ、根本
ガ本國ト同様ノ法律デアリマスガ、不文デ
アッタ、英國ガ成文法ニナツテ便利デアルト
云フノデ、「ニューヨーク」州其他ノトノ州モ
サウダラウト思ヒマスガ、條文ノ前後スル
所、名稱モ違ヒマス、英吉利ハ爲替手形法
ト云フ名義デ小切手モ這入ツテ居リマスガ、
亞米利加ハ流通證券法ト云フ名前ニナツテ
居リマス、内容ハ大同小異ノモノガ亞米利
加モ出來テ居リマス、サウ云フ譯デ亞米利
加人ヤ英吉利人ハ法シテ不文ノ不完全ナ手
形シカナイト云フコトヲ、彼等ガ考ヘテ
居ナイコトハ確デアリマス、ソレデ斯ウ云
フ風ニ見テ、若シ不文ノ慣習法デ書イテナ
イト云フ、事實ニ反スルコトヲ政府委員ガ
言フタコトガ傳ハルト云フト、彼等ハ惡イ感
ジヲ起シハシナイカト思フ、又不完全ニア
ルト云フコトモアリマスガ、彼等ハ決シテ
不完全ト思フテ居ナイ、此法案モドッチカト
言フト、日本ノ現行商法ノ手形ヨリ英米

ニ依フタ方ガ多イノデアリマス、是へ間違テ居クラ間違フテ居ク、ト云フコトニシテ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ手形ノ條文ノ所ヲ二三伺ヒタイノデアリマス、第五條ノ一項ニ「一覽拂又へ一覽後定期拂ノ爲替手形ニ於テヘ振出人ハ手形金額ニ付利息ヲ生ズベキ旨ノ約定ヲ記載スルコトヲ得其ノ他ノ爲替手形ニ於テヘ此ノ約定ノ記載ヘ之ヲ爲サザルモノト看做ス」、此五條一項ノ法文ニ依テ見マスト、一覽拂又へ一覽後定期拂ノ手形ニ付テヘ、手形金ノ外ニ利息ヲ附加ヘテ拂フト云フコトヲ書イテモ宜イ效力ガアルト云フコトニナツテ居ル、其他ノ手形ニ村テハサウ云フ約定ノ記載ヘ爲サザルモノト看做ス、書イテモ書カナイデモ同ジコト、他ノ手形ニ付テヘ手形金ノ外ニ利息ヲ加ヘテ拂フト云フ行爲ハ出來ナイト云フ趣意デアリマスカ、何ダカソレデハオカシイヤウニ思ヒマスカラ確メタイノデアリマス、ソレガ一ツデス、一覽拂又へ一覽後定期拂ウカト云フ點デアリマス、ソレカラ第二十六條デアリマスガ「引受ハ單純ナルベシ但手形ノ行爲デ有效デアル、元利共ニ併セテコトヲ得」ト、詰リ引受ハ百圓ノ手形ナラバ支拂人ハ百圓ノ手形ヲ引受ケルカ引受ケナイカ、二者一ツ云フコトノ外ニ、百圓ノシ支拂人ハ之ヲ手形金額ノ一部ニ制限スル云コトヲ得」ト、詰リ引受ハ百圓ノ手形ナラバウカト云フ意味ニナリト思ヒマス、二十六條ノ二項ニ「引受ニ依リ爲替手形ノ記載事項ニ加ヘタル他ノ變更ハ」一部引受ノ他ノ變更ハ、一部引受デモ變更、百圓ノ中八十圓ト云フ意味ニナリト思ヒマス、其他ノ手形ニカ七十圓トカモ變更ニナル、他ノ變更ハ皆還入ル「他ノ變更ハ引受ノ拒絶タル效力ヲ記載シテ居ル事項ニ對シテ變更シテモ、ソレハ手形行爲ハ效力ガナイ、無效ダ、斯ウ云フイカラ止シマス、ダカラ手形金額ノ一部ノ引受ハ手形行爲デ有效デアル、其他ノ手形ニカトヲ得ト云フノハ一部ノ引受ガ手形行爲

ガ有效デアッテ、當時ノ所持人ガ之ヲ甘ンジテ受ケナケレバナラヌカドウカト云フコトガ、此文章ダケデハ不明デアリマス、所ガ其點ハ後ノ四十三條ニ依テ見マスト斯ウナツ居リマス、「満期ニ於テ支拂ナキトキハ所持人ハ裏書人、振出人其ノ他ノ債務者ニ對シ其ノ遡求ヲ行フコトヲ得左ノ場合ニ於テハ満期前ト雖モ亦同ジ」、遡求スルコトヲ得、其一ツニ「引受ノ全部又ハ一部ノ拒絕アリタルトキ」ト斯ウアリマス、サウンマスト爲替手形ノ一部ノ引受ガアッテモ、全部ノ引受ガアッテモ、同ジャウニ所持人ハ引受ノ拒絕ガアッタモノト見ルコトガ出來ル、サウンシ満期日ヲ待タズシテ償還請求權ハ前者ニ向ツテ出スコトガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、サウシマスト四十三條ノ今ノ箇條ト前ノ二十六條ノ規定ト照シ合セテ見マスト、爲替手形金ノ一部ノ引受ハ手形行爲デ爲スコトヲ得ル、クレドモ當時ノ所持人ハソレデ不便ト思ヘバ全部ノ拒絕ト看做シテ、遡求權ヲ行ヒ得ル、併ナガラソレデモ宜シト云フナラバ、甘ンジテ受ケレバ引受效力ガアルカラシテ、其手形ノ後ノ所持者ハ遡求權ヲ行フコトガ出來ナイ、斯ウ云フ意味ニナルト思ヒマズガ、「一條前後照合セタノデハ十分明瞭デナイヤウニ思ヒマスカラ、ソレモ御説明ヲ願ヒタイ、詰リ私ノ考デハ一部引受ハ引受ノ效力ガアル、併ナガラ當時ノ所持人ハソレデ不便ト思ヘバ全部ノ拒绝同様ニ見テ手形金全額ニ付テ即時ニ前者ニ向ツテ償還請求ノ出來ル権利ガ所持人ニアル、甘ンジテ受ケレバ一部ダケノ引受ノ效力ガアル、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマスガ、其點ニ付テ條款十分ニ明瞭デナイ、ソレヲ疑フノハ、一部ノ付テ受ケマス時ニハソレデ宜イト云フコトニナリマスマスト、引受ナ一部分ニ付テハ前者ニ向ツテ償還請求ガ出來ル、引受タ部分ニ付テハ満期日ヲ待ツテ支拂請求ヲシナクテハナラヌ、一つノ手形デ時ヲ異ニシテ二ツノ場所ニ持ツテ行カナケレバ、全時ノ支拂ヲ受ケルコトガ出來ナイ、多クノ場合所持人方不便デアリマス、ソレカラモツツハ五十六條ノ第二項デアリマス、「爲替手形ニ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ヲ記載シタルトキハ

形ノ所持人ヘ其ノ者ニ爲替手形ヲ呈示シ且
拒絶證書ニ依リ其ノ者ガ引受ヲ拒ミタル
コトヲ證スルニ非ザレバ其ノ記載ヲ爲シタ
ル者及其ノ後者ニ對シ滿期前ニ遡求權ヲ行
フコトヲ得ズ」ト斯ウアリマス、此豫備支拂
ノコトデアリマス、爲替手形ニ支拂地ニ於
ケル豫備支拂人ト云フモノガ書イテアタ
時ニハ、所持人ハ先づ支拂人ニ其手形ヲ呈
示スルノデス、拒絶ガアルト云フト、今度
ハ豫備支拂人ニ行ク、豫備支拂人モ亦拒絶
シタト云フ時ニハ拒ミ證書ヲ以テ初メテ償
還請求ガ出來ル、斯ウ云フコトニナル、詰
リ豫備支拂人ガ書イテアル時ニハ、支拂人
ガ引受ケヌ時ニハ、次ニハ先づ豫備支拂人
ニ呈示フシテ、其引受ケルヤ否ヤヲ確メテ
來テデナケレバ前者ニ遡求權ヲ行ヘヌト、
斯ウ云フコトニナリマス、是ハ所持人カラ
見マスト、隨分見様ニ依リテハ不便利ナシ
ニス、デスカラ英米法ハ斯ウナテ居リマセ
ヌ、詰リ二箇所……鬼ニ角其支拂地ニ於テ
引受ケル、何カノ場合テ断ハル、サウスル
ト、豫備支拂人ニ又行カナケレバナラヌ、
バ……ト云フコトニナシテ居リマスガ、是デ
ハドウモ豫備支拂人ガ書イテアル時ニハ、
必ず所持人ハ支拂人ノ次ニハ豫備支拂人ニ
付テ引受等ヲ確メナケレバ償還請求ガ出来
ナイト云フコトニナリマスガ、左様デアリ
マスカ、ソレ等ノ點ハ實際上非常ニ便否ガ
分レト思ヒマス、此案ニ依リマシテモ、
一方ニ於テハ英米、手形法、他の方ニ於チ
ハ歐羅巴ノ大陸ノ舊主義ニ佛蘭西法ノ手形
法、新主義ノ獨逸手形法トノ非常ニ大イナ
達ヒハ、引受ノ拒絶ガアツタ場合ニハ、滿期日
ヲ待テダシ更ニ償還請求ガ出来ルト云フコ
トガ一番主ナル點デ、其點ハ英米法ニ據タ
ヤウデアリマス、此法案ガ……ソレニ據テ
ナケレバ逆モ英米ハ同意ヲスルト云フコト
ノナイコトハ確カデアリマス、英吉利ノ手
形法ノ趣意ト云フモノハ、英吉利ノ手形法
デハ貨幣主義ト云フコトヲ言フテ居リマス、
兌換紙幣ノ代用ヲサスト云フヤウナモノダ

ト云フコトニナ、テ居ル、詰リ手形ヲ持
テ居ル者ハ、引受ケテ吳レト云ヘバ、何時
デモ引受ケテ吳レルヤウデゴザイマス、滿
期日ニ拂^フテ吳レト云ヘバ、拂^フテ吳レル、丁
度兌換券ヲ銀行ヘ持^フテ行^フテ硬貨^ヲ換ヘテ
吳レト云テモ……ソコニ信用ガアレバ又
換ヘニ行カナイ、ソレデアルカラ通貨同様
ニ運用ガ出来ルト云フコトデ出来テ居ル、
所ガ引受ケテ吳レト云テ持^フテ來ルト、拒
絶セラレル、當テガ外レル、引受ケヌト云
フナラバ、滿期日マデ持^フテ拂^フテ吳レト云
テモ多分断ハルダラウト思ヒマス、サウス
ルト通貨ニ容易ニ換ヘルコトガ出来ヌ、債
權ノ證書ミタイノ形ニナル、ソレデヘドウ
モ手形ノ效用ヲ失フカラ、直グニ現金ニ換
ヘテ吳レト云フコトヘムヅカシイモノノアル、
トガ根本ノ趣意デアリマンシテ、成ルベク通
貨ノ代用ヲナサシメル、何處ノ國ニアリマ
シテモ、或時期ニ於テ通貨ノ量ヲ適當ニ定
ムルト云フコトハムヅカシイモノノアル、
多過ギテモ少過ギテモイカヌ、寧ロ少過ギ
ルノガ宜イト云フノガ英國ノ手形法ニ見ル
所デアリマス、通貨ガ不足ナラバ手形ヲ以
テ補充スル、是ハ需要供給デ自然伸縮ガア
リマス、ソレデ通貨ノ代用ヲサスト云フ意
味デ出來テ居ルト見エテ大變重キヲ置イテ
居ル、同ジ考ヘデ豫備支拂人ガ書イテアル
場合ニヘ其處ヘ持^フテ行ク、何箇所ヘモ行カ
ナケレバナラヌ、「一箇所ヘモ行カナケレバ、
自分ノ権利ガ行ヘナイト云フコトニナリ
マスト、紙幣同様ノ行爲ガ行ヘヌト云フコ
トニナリマス、是デハ^フキリシマセヌガ、
豫備支拂人ガ書イテアレバ、其處ヘモウ一
遍行カナケレバ前者ニ償還請求ガ出来ナイ
ト云フコトニナ、テ居リマスガ、サウデアリ
マスカ、是等ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、
政府委員モドナタデモ……委員長、政府
委員ノドナタデモ宜シウゴザイマス

ニ存ジマスガ、若シ其修正が結局條約ノ要
求スル所ノ手形法案ト、ソレカラ條約ニ要
求イタシマス附屬書一ト達フヤウナ結果ニ
ナリマスレバ、結局批准ハ出來ナイト云フ
コトニナルノダト存ジマス、ソレカラ第二
ノ點ハ、是ハ私ハ實ハ委員會ニ於テ申上ゲ
ヤウガ足リナカタト云フコトヲ後デ氣付
キマシタノデ、實ハ訂正ヲ致サウト思ヒマ
シタノヲ、訂正シソクナシタ點ナノデアリ
ガラ其成文法ハ慣習ヲ基礎ト致シテ居リ
マス、私ガ成文法ガナカタト申上ゲマシタ
ノハ全夕間違ヒデアリマシテ、慣習ノ結果
成文法ガ出來テ居ルノデアリマスガ、併ナ
シタノヲ、訂正シソクナシタ點ナノデアリ
マスモノニアリマスカラ、ソレヲ詰リ外
部カラ法規的ニ直スト云フコトガ困難ノ事
情ニアルト云フコトヲ申上ゲル積リテア
タノデアリマス、ソレカラ其次ハ手形ノ一
部引受ノ御問ノコトデアリマスガ、ソレハ
此四十三條ニモアリマス通リニ、此手形ノ
引受ニ付テ一部ノ拒絶ガアリマスレバ、其
拒絶サレタ分ニ付テ遡求權ヲ行フコトガ出
來テ居ルヤウニナシテ居ルノデアリマス、ソ
レカラ、次ニハ五十六條ノ豫備支拂人ニ對
スル引受ノ呈示ノコトデアリマスガ、是ハ
御說ノ如クニ若シ豫備支拂人が一部引受ノ
爲メノ呈示ヲシナケレバナラメト云フコト
ニナレバ、手形ノ所持人ハ幾分不便ノコト
トナルト思ヒマスケレドモ、又一方振出人
其外手形債務者ノ關係カラ申シマスレバ、
或ハ内部的ニ色ニナ資金關係モアリマスカ
ラ、又豫備支拂人ニ引受ヲ求メセセルト云
フ便益モアルコトト存ジマシテ、是ハ結局
債務者ト債務者、兩者ノ衡問題題デアリマス
存ジマス、尙ホ御承知ノ如クニ五六六條第
二項ハ支拂地ニ於ケル豫備支拂人ノミノ場
合ヲ定シテアリマス、又御承知ノ如クは
ハ現行法定ト略ボ同ジコトニナシテ居ルノデ
アリマス、尙ホ私ノ或ハ御答ガ不十分デア
ルカモ存ジマセヌガ、大體サウ云フコトニ
存ジマス

フト、是ハ形式ダケで議會ニ提案ニナフタモ
ノダラウト思ヒマス、貴衆兩院ハ決議權ヲ加
ナイト云フコトニナル、私ノ考デハ、外ノ
條約デアリマシテモ、或ハ條件附留保ラシ
テ其儘デ批准スルト云フコトモアリマス
ガ、ドウモ或修正ガアツテ、矢張リ修正ヲ加
ヘタ條件ノ下ニ御批准ニナルト云フコトガ
出來サウニ思ヒマスガ、サウ云フコトハ私
ハ實ハ不案内デ能ク分リマセヌガ外務ノ當
局カラデモ伺ヒタイト思フ、ソレデナケレ
バ少シデモ修正シタラモウ批准出來ナクナ
ル、サウナルト此儘決議セヨト云フコトニ
ナリ、決議權ト云フモノハマルデ拘束セラ
レルコトニナル、ソンナコトハナイモノダ
ト思ヒマス、ソレカラモ一度、ハキリ御
説明ガ分リマセヌガ、引受ケデアリマス、
四十三條ノ一號デアリマス、引受ケノ全部又
又ハ一部ノ拒絕アリタル時ハ滿期日前デモ
廻求權ガ行ハレル、其廻求權ハ一部ノ拒絕
マスト、前ノ箇條ト關係カ甚ダ遠テ來ル、
四十三條ノ一號デアリマス、引受ノ全部又
付テ廻求權ヲ行フ、引受ケガアッタ部分ハ滿
期日迄待タナケレバ、ナラスト云フコトニナ
ルガ、其點ガハキリシナカッタ、サウナリ
マスト、アッタ時ニハ、一部ノ拒绝アッタ部分ダケ
ハ一部ノ拒绝ノアッタ時ニハ、廻求權ガ行ハ
レル、此廻求權ハ、拒绝ノアッタ一部分ダケ
ニ付テデアリマスカ、全部ニ付テデアリマ
スカ

リマシテ、條約ノ内Contentタル商法中ノ爲替手形、約束手形ニ關スル規定ハ議會ノ協賛ヲ求メルコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、御言葉ノ立テ方ニ依ツテハ、審議權ノ上ニ於テ、何モ修正其他ノ行爲ヲナスコトガ出来ナイト云フヤウナコトニモナルヤウデアリマスガ、極メテ其關係ハ微妙ナコトニナツテ居ルノデアリマス、大概是デ御了解グトアリマス、是ダケ申上ゲテ置キマス、後ノ各條ニ關スルコトハ政府委員カラ御答へ致シマス

○政府委員長島毅君演壇ニ登ル

(政府委員長島毅君演壇ニ登ル)

○木場貞長君 只今土方君カラ御尋ノ中ニ拒絶ノアシタ場合ノ御尋デアリマスカ、結局一部ノ引受拒絶ガアリマスレバ四十八條ニ付テ居ルノデアリマス、大體ニ於テ政府ノ依リマシテ、引受ノナイ金額ニ付テ週返ヲ求メラレルノデアリマシテ、詰リ仰セノヤウナ結果ニナル譯デアリマス

議會ノ審議權ノコトニ付テ御尋ガアリマシタガ、此點ハ委員會デモ質疑ニナリマシテ、種々研究シタ點デオサイマスガ、ソレデアリマスカラ、委員會ノ伺ンタ所ノコトヲ申上ダゲテ置キタイト思ヒマス、大體ニ於テ政府ノ見ラル、所ト同ジ意見ナノデアリマス、議會ハ拘束サレナイ、勝手ニ修正シテモ差支ナイ、但シ政府ノ答辯等ヲ聽キマシテ、之ニ修正ヲ加ヘレバ、或ハ御批准困難ニ立至ルカモ知レナイ、之ヲ頭ノ中ニ置イテ而シテ修正スルトモ、其體贊成スルトモ、是ハ約ニ關係ナク、單純國内法ト見次支儘デアリ、兩議院ヲ通過スルヤウナコトニナタナラバ、其結果ハドウナルカト云フト、是ハ條約ナイ譯デアル、若シ併シ方擧ナモノデハ政府ナイ譯デアルト云フヤウナコトデアレバ、何時モ政府ガ議決未了ノ中ニ撤回スルコトノデモ政府ガ議決未了ノ中ニ撤回スルコトノデアリマス、議會ノ審議權ニ關係ガアルト云フヨトデアリマスカラ、委員會ノ見タル所ヲ茲ニ追加御報告イタシテ置キマス

○土方寧君 私ノ質問ノ中ニマダ一ツ落チ

○居テアリマシタガ、御答ノ無イ部分ガアル、
ノ他ノ爲替手形ニ於テハ此ノ約定ノ記載アリ、
之ヲ爲ザザルモノト看做ス「ト云フ場合、其
他ノ場合ハ其コトヲ書イテ置イテ、書イテ
ナイモノト同ジモノ見ルト云フノハオカ
シイコトダト思ヒマスガ、ドウデスカ

(政府委員長島毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(長島毅君) 或ハ御問ヒノ趣旨
ニ合ハナイ御答ヲ致シマシタナラバ、モウ
一度御問ヒヲ願ヒマスガ、第五條ノ第二項
ニアル利率ヲ、若シ手形ニ書キマセヌト利
息ノ算出方法ガアリマセカラ、若シ利
ガ書イテナケレバ利息ノ約定ハ記載シナイ
モノト看做ス、斯ウ云フ趣旨ニ出来テ居
次第デアリマスガ、チョット若シ私ノ答ガ
趣旨ニ副ヒマセヌデシタラモウ一應御問
ヲ願ヒマス

○土方秀君 一二項デアリマセヌ、一項ノ後
ノ方デス、一項ノ方デス「其ノ他ノ爲替手形
ニ於テハ」ト云フ所デス

○政府委員(長島毅君) 此ノ他ノ爲替手
形、例ヘバ確定日拂ノヤウナモノデアリマ
スト、確カソレハ御問ヒノ中ニモア、タコト
ト存ジマスガ、確定日拂ノ手形デアリマス
レバ、利息ノ金額ハ元本ノ中ニ繰入レ
載ガ出来ルノデアリマスカラ、サウ云フ却
分ニ付テハ利息ノ記載ヲ許サナイ、斯ウ云
フ趣旨デアリマシテ、結局利息ノ文句ノ記
載ハ成ルベク狭イ程度ニ於テ之ヲ認メヤウ
ト云フコトカラ出テ居ルノデアリマス

○土方秀君 一覽拂又ハ一覽後定期拂ト云
フノハ、何時何日ト定^テ居リマセヌカラ
利息ヲ勘定シヤウガナイ、定期拂ノ手形
額ニハ勘定ハ要ナイ、其他ノ時例ヘバ定期
期拂何年何月トカ、日附後何箇月拂ニナッ
居ル場合ニハ豫メ利息ヲ見ル積リデ爲替金
額ニ算入シ得ルカラ、別ニ利息トシテ記載
セヌト云フ意味デスカ

○政府委員(長島毅君) 其通デアリマス
クナイト思ヒマス

○議長(久爵徳川家達君) 本案ノ第一讀會
ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ
(異議ナシ)ト呼フ者アリ

- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
- 子爵西大路吉光君 賛成
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
- 議長(公爵德川家達君) 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 本案全部ヲ問題
ニ供シマス……全部原案ニ御異議ゴザイマ
セヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
- 議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
メマス
- 議長(公爵德川家達君) 第二讀會ノ決議
通リデ御異存ゴザイマセヌカ
- 議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
- 議長(公爵德川家達君) 昨日ノ上山君ノ
質疑ニ對スル政府ヨリ答辯ガアル趣デゴザ
イマス、堀切太藏政務次官
- 政府委員(堀切太藏政務次官) 昨日ノ上山サ
ンノ御質問ニ對シテ、直接大藏大臣ヨリ御
答辯申上グベキ所、今日病氣缺席ノ爲メ私
感スル所デアリマス、今ニ於テ其弊所ヲ
矯ムルハ立憲政治ノ發達ノ爲メ是非トモ
爲サネバナラナイ所デアリマス、協力ノ
上銳意其革新ニ力メタイト存ジマス、同

時ニ時局ノ重大性ト現内閣ノ使命トニ考
へ、私共ハ政黨既往一切ノ行拂リヲ捨て、
虚心坦懐深ク相持携シテ難局ノ匡救ニ盡
シマス、右亦誠ヲ披瀝シテ御答ヘト致シ
マス

(國務大臣男爵山本達雄君演壇ニ登ル)
○國務大臣男爵山本達雄君 昨日上山君ノ御
答辯ニ相成リマシタル趣旨ト私ハ全ク同感デ
ノ熱心ナル御演説ト御質問ニ對シマシテ、吾等
御答ヲ致シマス、私ハ只大藏大臣ヨリ答
辯ニ相成リマシタル趣旨ト私ハ全ク同感デ
アリマシテ、何等其處ニ違ヒマシタルコト
ハアリマセヌ、私等兩人老舗ヲ提ゲマシテ
此臺閣ニ列シマシタノハ、唯事局ノ重大ナ
ル時ニ際シマシテ、幾分クリトモ不安ヲ和
ラゲ、又黨派ノ黨弊ノアル所ヲ矯正スルコ
トヲシタイト申シマスルコトニ付テ、協力
奉公ノ誠ヲ盡シタイト云フ精神ニ外ナラナ
イノデゴザイマス、又私ノ立場トシ職責ト
致シマシテハ、地方長官ノ進退黜陟ノ任ニ
當テ居リマスルカラシテ、此事ニ對シマシ
テ唯人物人材ト云フコトヲ主ト致シマシ
テ、十分ニ公平ナル慎重ノ態度ヲ以チマシ
テ、黜陟ヲ致シタイト思フ次第デゴザイマ
ス、此段ヲ御答ヘ致シマス(拍手)
(國務大臣荒木真夫君演壇ニ登ル)
○國務大臣荒木真夫君 昨日御懇意ナル
御質疑ニ對シマシテ、御答ヲ致シマス、第一
ノ勤諭ノコトニ付キマシテハ、明治十五
年一月四日軍人ニ賜ハリマシタル勤諭ハ、
我皇軍ノ本義ヲ示シ給ヒマシタモノデアリ
マシテ、軍ノ精神ト深ク我ミハ日夜奉體ヲ
致シマシテ、聖旨ニ報キ奉ルコトニ専念イ
マス、堀切太藏政務次官

是等ヲ御異存ゴザイマセヌカ

(國務大臣荒木真夫君演壇ニ登ル)
○國務大臣荒木真夫君 昨日御懇意ナル
御質疑ニ對シマシテ、御答ヲ致シマス、第一
ノ勤諭ノコトニ付キマシテハ、明治十五
年一月四日軍人ニ賜ハリマシタル勤諭ハ、
我皇軍ノ本義ヲ示シ給ヒマシタモノデアリ
マシテ、軍ノ精神ト深ク我ミハ日夜奉體ヲ
致シマシテ、聖旨ニ報キ奉ルコトニ専念イ
マス、堀切太藏政務次官

〔國務大臣荒木真夫君演壇ニ登ル)
○國務大臣荒木真夫君 昨日御懇意ナル
御質疑ニ對シマシテ、御答ヲ致シマス、第一
ノ勤諭ノコトニ付キマシテハ、明治十五
年一月四日軍人ニ賜ハリマシタル勤諭ハ、
我皇軍ノ本義ヲ示シ給ヒマシタモノデアリ
マシテ、軍ノ精神ト深ク我ミハ日夜奉體ヲ
致シマシテ、聖旨ニ報キ奉ルコトニ専念イ
マス、堀切太藏政務次官

〔國務大臣荒木真夫君演壇ニ登ル)
○國務大臣荒木真夫君 昨日御懇意ナル
御質疑ニ對シマシテ、御答ヲ致シマス、第一
ノ勤諭ノコトニ付キマシテハ、明治十五
年一月四日軍人ニ賜ハリマシタル勤諭ハ、
我皇軍ノ本義ヲ示シ給ヒマシタモノデアリ
マシテ、軍ノ精神ト深ク我ミハ日夜奉體ヲ
致シマシテ、聖旨ニ報キ奉ルコトニ専念イ
マス、堀切太藏政務次官

〔國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル)
○國務大臣岡田啓介君 昨日上山君ノ御
質問ニナリマシタ第四ノコトデアリマス、
テ居ルコトデアリマシテ、世間ニ唱ヘラレ
マシテ居リマスノデ、今日之ニ關シテ直ニ
マシテハ一面教化又指導訓育等ニ依リマシ
テ、是ガ矯正ニ努メテ以テ皇軍ノ面目ヲ損
シザルコトヲ付テ、各所屬長ニ於テ努力イ
シマス、右亦誠ヲ披瀝シテ御答ヘト致シ
マス

(國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル)
○國務大臣岡田啓介君 昨日上山君ノ御
質問ニナリマシタ第四ノコトデアリマス、
テ居ルコトデアリマシテ、世間ニ唱ヘラレ
マシテ居リマスノデ、今日之ニ關シテ直ニ
マシテハ一面教化又指導訓育等ニ依リマシ
テ、是ガ矯正ニ努メテ以テ皇軍ノ面目ヲ損
シザルコトヲ付テ、各所屬長ニ於テ努力イ
シマス、右亦誠ヲ披瀝シテ御答ヘト致シ
マス

(國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル)
○國務大臣岡田啓介君 昨日上山君ノ御
質問ニナリマシタ第四ノコトデアリマス、
テ居ルコトデアリマシテ、世間ニ唱ヘラレ
マシテ居リマスノデ、今日之ニ關シテ直ニ
マシテハ一面教化又指導訓育等ニ依リマシ
テ、是ガ矯正ニ努メテ以テ皇軍ノ面目ヲ損
シザルコトヲ付テ、各所屬長ニ於テ努力イ
シマス、右亦誠ヲ披瀝シテ御答ヘト致シ
マス

(國務大臣岡田啓介君演壇ニ登ル)
○國務大臣岡田啓介君 昨日上山君ノ御
質問ニナリマシタ第四ノコトデアリマス、
テ居ルコトデアリマシテ、世間ニ唱ヘラレ
マシテ居リマスノデ、今日之ニ關シテ直ニ
マシテハ一面教化又指導訓育等ニ依リマシ
テ、是ガ矯正ニ努メテ以テ皇軍ノ面目ヲ損
シザルコトヲ付テ、各所屬長ニ於テ努力イ
シマス、右亦誠ヲ披瀝シテ御答ヘト致シ
マス

ヒマス、海軍大臣ハ今審理中デアルカラ答辯ノ自由ヲ持タナイト云フ御話デゴザリマスガ、私ノ質問イタシマシクノハ、今審理中デハナイト思フノデアリマス、審理中ノ事ハ、五月十五日ノ事件デアラウト思フ、其外昨年以來ノコトハ、審理中デハナイノデ、ドウナツカ我ミハ知ラナイ事柄デアリマス、又事件ノ内容ガドンナモノデアッタカト云フコトモ公ケニハ知ラナイ事柄デアリマス、此事柄ヲ陸海軍共ドノ程度ニカ於テ御發表ヲ願タラバ、浮言流説ヲ杜絶スルコトガ出来テ、國民不安ノ念ヲ去ルコトが出来ルト思フ考カラ、私ハ質問イタシタノデアリマス、併シ今ノ場合公ケノ席ニ於テ仰セニナルト云フコトガ、聊カ困難ナル御事柄情モアルカニ私ハ推察イタシマスカラ、此機会ニ於テ又伺ヒタイト思ヒマスカラ、ドウカ御用意ヲソレ迄ニ願テ置キタインデアリマス、ソレカラ陸軍大臣ノ御答辯ニ、世相ノ宜シクナ爲ニ、地方カラ出テ來ル下士或ハ卒ノ如キハ、餘程何ト申シマスカ、ドウカ御用意ヲソレ迄ニ願テ置キタクナ、昨日本ト云フ風ニ伺ヒマシタ、是ハ私ハ否定ハイタシマセヌ、ケレドモ露骨ニ私ニ申ストコトヲ御許シ下サルナラバ、私ハ陸海軍ノ大臣ノロカラサウ云フ言葉ガ聞キタクナ、昨日本ト云フリマス、其御考ハ聊カ如何デアラウカト云半ニ於テ、私トシテハ遺憾ナク此事ヲ申シタ積リデ居リマスカラ、實ハ其以上御説明下サラヌ方ガ私ハ宜イト、斯ウ思フノデアリマス、其御考ハ聊カ如何デアラウカト云コトヲ私ハ感ジマスカラ、此感想ヲ申シテ置キマス、ソレカラ御言葉ノ中ニ、是ハ言葉咎メラスルノデアリマセヌガ、御言葉ノ中ニ、統帥權ノ確立、軍備ノ充實ヲ期スルト云フヤウナトガゴザイマシタガ、此點ハ何カ御言葉ノ意味ヲ私ハ取違ヘタカト思フノデアリマシテ、統帥權ガ確立シナカツカラ帝國ノ大事デアリマス、改メテ統帥權ハ確立スル必要ハチヨ、トモアリマセヌ、此私ノ考デハ、現在統帥權ハ確立シテ居ルト思フノデアリマシテ、統帥權ガ確立シナカツ思フ位ニ、私ハ自ラ自分ノ耳ヲ疑テ居リマス、此上御答辯ハ煩シマセヌ、只私ノ思想

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ關直彦君ニ發言ヲ許サウト存ジマスガ、今總理大臣ハチヨット此議場カラ外へ出ラレマシテ、直キ戻ツテ來ラレマス趣デゴザイマスガ、總理大臣ノ著席ヲ御待チニナリマスカ、御待チニナル必要ガナケレバ、御登壇ヲ願ヒタイン希望シテ置キマス(拍手)

○關直彦君 直グニ御戻リデアリマスレバ、御待チ申上ゲタイト思ヒマス、而シテ

○議長(公爵徳川家達君) 然ラバ暫ク御待チヲ願ヒタイ

○關直彦君 チヨット申上ゲテ置キマスガ、只今書記官長ニ承リマスルト云フト、午後首相ハ御參内ニナルト云フコトデアリマス、就キマシテハ私モ成ルベク簡単ニ述ベタイト思ヒマスルガ、何時デモ差支ガアリマスレバ、議長ノ御命令ニ依ツテ中止シテ差支ナイ、是ダケ申上ゲテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 内閣總理大臣ノ出席ガゴザイマシタカラ、關君ノ御登壇ヲ促シマス

(關直彦君演壇ニ登ル)

○關直彦君 私ハ政界廓清ノ件ニ付キマシテ、總理大臣閣下、内務大臣閣下ニ御質問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、昨日同僚ノ上山君ヨリ致シマシテ政界ノ弊害ノ件ニ付キマシテハ、縷々數万言御陳述ニナリマシタノデ、私ハ成ルベク重複ヲ避ケマシテ、其詳シキ状態ハ申上ゲナイコトニ致シマス、稍、具體的ニ御質問ヲ申上ゲタイト思フノデアリマス、第一ニ私ガ御伺ヒ致シタイノハ、政府ハ如何ナル方法ニ依テ政界ノ淨化ノ目的ヲ達セラレルカト云フコトヲ御伺ヒ致シタイノデアリマス、過日齋藤子爵閣下が本壇上ニ於カレマシテ御演説ヲナラレマシタル其中ニ、最モ政界ノ淨化ニ付テ重キヲ置カレタコトハ、誠ニ私共ノ喜ブ所デアリマス、又現内閣ノ成立シマシタル使命ノ一トシテ、政界淨化ト云フコトガ重

大ナル意義ヲ有シテ居ルノデアルト考ヘ、レルノデアリマス、此點ニ付キマシテハ、十分ノ御努力ヲ仰ギタインハ當然デアルト存ジマス、思フニ近來政黨ノ首領竝ニ財閥ノ巨頭ニ對シマシテ、甚ダ忌ハシキ不祥ノ事件ガ續發イタシマスルコトハ、實ニ悲ムベキコトデアリマス、而シテ其由ツテ來ル所ノ原因ハ何デアルカト申シマスレバ、政界ノ狀態甚ダ面白カラヌ狀態デアルト云フコトガ其原因デアルト稱ヘラレテ居ルノデアリマス、政弊ニ付テ不満ヲ懷キ、之ヲ革正セムトスルノ目的ハ誠ニ結構デゴザリマスルケレドモ、其手段ヲ直接行動ニ取ルコトハ是ハ最モ遺憾ノコトデアルト私ヘ存ジマス、殊ニ先月十五日ノ變ノ如キ、最モ極端ナルモノデアリマシテ、我國ノ歴史ニ於キマシテモ見ザル所デアルノデアリマス、斯様な場合ニ於キマシテハ如何トモ遁ル、道ガアリマセヌ、其行動ヲ致シマシタノハ誠ニ悲ムベキコトデ、青年ノ軍人ノ舉動ニアリマシタコトハ、私ガ誠ニ遺憾ト存ズルノデアリマス、我ガ國民ノ今日最モ信賴ヲ致シテ居リマスルノハ司法官ト軍人デアリマス、其信賴スペキ、且ツ尊崇スベキ軍人ガ立チテ直接行動ニ出ヅルニ至リマシテハ、誠ニ國家ス、最モ信賴ヲ致シ、最モ崇敬ヲ致シテ居リマスルノハ司法官ト軍人デアリマス、其信賴スペキ、且ツ尊崇スベキ軍人ガ立チテ過刻モ陸軍大臣ヨリ色ニ御答辯ガアリマシタ通り、此點ハ特ニ其方面ノ首腦部ノ方ニ御取締ヲ匪ヨリ外ニナイト存ジマス、ルコトノ出來ナイモノデアリマスルカラマシテ、政界ノ腐敗ヲ匡正スル途へハ、其途ハゴザリマスル、斯様ナル荒療治ヲ致シマシテ政界ノ腐敗ヲ匡正セマヌカラスト云フ必要ハ更ニ無イノデアリマス、故ニ私ハ只今總理大臣及内務大臣閣下ニ向フテ、其政界ノ淨化ノ方法ニ付テ御伺ヒ致シタイ、此諸公ノ御力ニ依フテ現在ノ誠ニ悲シムベキ状態ヲ匡正シテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレカラモウ一ツ誠ニ悲ムベキコトハ、勤トモスルト云フト今日議會否認ノ聲ガ往々聞エルノデアリマス、而シテ其議會否認ノ聲ヲ

國民ガ聞キマシテ、敢テ之ヲ咎メモセキベ
怪ミモシナイト云フ状態ハ、誠ニ國家ノ爲ニ
悲ムベキコトデアリハシナイカ、實ニ山々
シキ大事デアルト考ヘルノデアリマス、若シ
サウ云フヤウナコトガ社會ニ勢力ヲ得、或
ハ勃發ヲ致シマスルト云フコトニナリマス
ルト云、フト、畏クモ明治大帝陛下ガ心血
ヲ注ガレテ御設立ナリマシタ所ノ立憲政治ハ
頓挫ヲスル、破壊ヲサレルト云フ譯ニナル
ノデアリマス、實ニ我ニ國民ト致シマンシテ
ハ、誠ニ恐懼ノ至ニ堪ヘマセヌ、若シ左様
ナ結果ニ陥リマスルト云フト、我ガ國民ノ
權利、自由、財産、生命モ之ヲ安全ニ保護ス
ルコトガ出來ナイヤウナ場合ニ立至リハセ
ヌカト私ハ非常ニ憂慮イタスノデアリマス
ス、依テ今日ノ政弊ノ匡正セムト致シマス
レバ、先ツ其由ヲテ來タル所ノ禍ノ根源ヲ究
メ、其禍ノ根ヲ絶ツト云フコトニ付テ御努
力ヲ願ハヌケレバナラヌト信ズルノデアリ
マスガ、其禍根ハ如何ナル所ニ在ルカト由
シマスルト、一ツハ悲ムベキコトデアリマ
スルガ、誠ニ恥ヅベキコトデアリマスルガ、
國民全體ニ立憲思想ガ徹底イタシテ居ラヌマ
ト云フコトガ一ツデアリハシナイカ、選舉
ノ重大ナル權利デアリ重大ナル任務デアル
ト云フコトヲ國民ガ普ク之ヲ承知シテ居ラ
ナイト云フコトガ一ツノ原因デアリハシマ
ト云フコトガ一ツデアリハシナイカ、選舉
ハ其意味ヲ解シマセヌデ、或ハ情實因縁ニ
依リ、或ハ金錢利益等ノ爲ニ選舉ノ方法ヲ
誤ルト云フコトガ、都會ニ於テモ多數私共
ガ見受ケ又聞キ及ブ所デアリマス、況ヤ地
方ニ参リマスルト云フト、此狀況ガ一層甚
シクシシテ、選舉ノ何モノタルヲ知ラズ、唯
金ヲ貰ヒ、日當ヲ貰ヒテ選舉ヲスルト云フノ
ミヲ考ヘテ居ル者ガマダ／＼澤山アルト云
コトヲ私ハ見受ケテ居リマスルシ、又聞
リマスルト云フト、三万、五万、八万、十
万、甚シキハソレ以上ニモ金ヲ使ハナケレ
バ出ラレヌト云フヤウナ状態ガ今日ノ狀態
デアリマス、右ノ如ク多額ノ金ヲ使ヒマシ
テ中央ニ出テ参リマスレバ、何等カ之ニ對

スル埋合セヲ求ムルト云、フヤウナコトガ、或ハ有リヘシナイカト思フノデアリマズ、ソレガ政弊ノ由テ來ル所デアリヘシナイカ、又總選舉ノアリマスル毎ニ、個人ノ選舉費用ハ勿論デアリマスルケレドモ、政黨ノ選舉用ハ、脳部ト致シマシテハ、必ず少クモ二百萬選舉ガ出来ナイト云、フ狀況デアリマズ、是ハ公然ノ秘密デアリマス、如何ナル所カラセヌガ、兎ニ角各政黨ニ於キマシテハ數百万ノ金ヲ募集シマセヌケレバ、總選舉ニ臨ムコトガ出来ナイト云、フコトヘ、現實ノ事情デゴザイマス、何レ此資金ハ、或ハ財閥若クハ富豪ノ手ヨリシテ其寄附ヲ受ケルノ、デゴザイマセウガ、ソレニハ幾分カノ因縁、人情ガ揃ミマスルカラシテ、政弊ノ由テ起リマスル所以ハ此ニ在リヘシナイカト思フトヘ、私ハ専ら致シテ居ルノデアリマス、ノデアリマス、全ク選舉ニ金ガ掛カルト云、フコトハ、代議士ダラムトスル者ノミナラズ、各政黨ノ最モ懐ミタル所デアルト云、フコトハ、私ハ専ら致シテ居ルノデアリマスカラシテ、先づ第一ニ最モ必要ナノハ、國民ニ普段立憲思想ヲ養セシメルト云、フコトガ主ノ二十五年ノ總選舉ニ始マリマシテ、其以來如何ナル場合ニ於キマシテモ、巧妙ナル手段方法ヲ以テ多少ノ干渉ガ行ハレルト云ガ甚ダ宜シクナインデ、選舉ニ干渉ハ明治タル大事ナコトデハアリヘシナイカ、又其ヲ醸ス源トナツ居ルノデアリマスカラシテ、此ニ選舉ニ際シマシテ買収ト云、フコトヲ絶スルト云、フコトガ、政弊ヲ矯メルノ一ツノ手段デアリハシナイカ、而シテ只今申シマスル選舉ノ干涉ヲ防止スルト云、フコトガ肝要デアリヘシナイカト思フノデアリマス、此ニ選舉ニ付キマシテ、齋藤閣下ノ内閣ハ、ヲ矯メルノ方法ニ付テ御努力アラムコトヲ希望イタシマスルガ、此邊ニ付テハ十分ニ御努力願ハレマセウカ、ドウデアリマセウカ、其コトヲ第一ノ項目トシテ御尋ね致シタイノデアリマス、ソレカラ第二ニハ政府ハ、前々内閣即チ濱口内閣時代ニ設ケラレマシタル選舉、革正審議會ノ成案ト云モノガアリマスル、此成案ニ對シテ之ヲ實行シ、又ハ此成案ニ對シテ御意見ヲ加

ヘラレテ、増補修正サレテ、御實行ニナル
御意思ガアリマスカ否ヤト云フコトヲ伺
タイノデアリマス、瀬口内閣ニ於キビ
マシテ、政府ハ…其當時ノ政府ハ、政弊
ノ革正ニ氣付カレマシテ、先づ政弊ノ革正
ヲスルノニハ選舉ノ革正ガ根本デアルト云
正コトニ氣付カレマシテ、其内閣ニ選舉革
正審議會ト云モノヲ設立サレタノデアリ
マス、貴衆兩院ノ代表者、最高學府及朝野
ノ權威者ヲ以チ會ラ組織サレマシテ、慎
重審議歲餘ニ瓦ツテ決議セラレタル答申書
ヘ、内閣ニ現存シテアルト考ヘラレマス、
其要項ヲ申シマスルト、只今述べマシタル
通り、其答申ノ要項ハ、第一投票費政防
ニ關スル件、第二方選舉運動費用ノ減少ニ
關スル件、第三ガ選舉干渉防止ニ關スル件、
第四ガ其他ノ制度改正ニ關スル件ト致シマ
シテ、事務官ノ身分保障ニ關スル件、檢事
ニ司法警察官ヲ直屬セシムルノ件、是ガ選
舉ノ方法ニ關シマシテノ答申ノ要項デアリ
マス、今一つハ立憲思想ノ涵養ニ關スル件
ノ答申ト致シマシテハ、政治教育調査會設
置ニ關スル件、學校ノ教育ニ關シ學校ニ必須
科目ト致シテ公民科ト云フモノノ設ケ、小
学校ノ上級ヨリシテ大學ノ終りニ至ル十
マニス、勿論是等ノ答申ノ成案ヲ實行イタシ
シタカラト云フコトノ制度ヲ設ケルト云
コトデアリマス、其他學校以外ニ關シマシ
テハ、第三ト致シマシテ、社會教育ニ關スル
件等モ答申ニ載セラレテアリマシテ、立憲思想
ノ答申ニ載セラレテアリマス、然ニル其實行ハ瀬口前首相ノ遺難、
讀アイテ内閣更迭等ニ依リマシテ、實行セ
ラレズニ其儘ニナシ居ルノ甚ダ遺憾ニ
存ズルノデアリマス、選舉法ノ改正ニ付キト
ガ出来マセヌデ、遺憾ナガラ其儘ニ残シテ居
ルヤウデアリマス、此事實ニ對シマシテハ、
タガ、其案ノ中ニ福澤院ノ反對セラレル條
項ガアリマシタガ爲ニ、遂ニ通過ヲスルコト
ガ出来マセヌデ、遺憾ナガラ其儘ニ残シテ居
ルヤウデアリマス、此事實ニ對シマシテハ、
現ニ當院ノ議員中ニ於カレマシテ、近衛公
爵、松平伯爵、青木子爵、黒田男爵、伊澤潮
次田、川崎、小野塚、水野ノ諸公ハ此審議
會ニ御關係デ、十分ニ御努力ニナリマシタ
カラ、其事實ハ能ク御承知アラウト存ジ

マルス、殊ニ又今回司法大臣ニナラレマシテ、非常ナ御努力ニナシタト云フコトハ、御承知デアラウト存ズルノデアリマス、幸ニシテ齋藤閣下ハ政界ノ淨化ヲ企圖セラレル以上ハ、シナイカト思フノデマジスカラ、ソレハ内閣ノ御手許ニ保存サレテゴザイマセウカラシテ、十分ニ御考究ノ上、尙ヨリ以上ノ良キ方法ガゴザイマチナラバ、其成案ニ増補修正ヲ加ヘラレマシテ、御實行ヲ願ヒタインデアリマスルガ、其意思ガオ有リデアルカ如何、其コトヲ御伺ヒ致スノデアリマス、ソレカラ次ニ是ハ細カイコストニアリマスルケレドモ、一ツノ問題ヲ提出イタシマシテ、御参考ニ供シ、御熟考ヲ仰ギタインハ、選舉ノ公營ト云フコトデアリマスル、今日ノ選舉ノ運動方法ニ委シテ置キマナルト云フト、又ハ買收、或ハ干渉、種々ノ費用ガ非常ニ掛カラマスルカラシテ、選舉ニ關スル印刷物ノ送達配付、是ハ政府ノ手費用ヲ減少スル爲メ、或ハ弊害ヲ除ク爲ニ選舉ヲ公營ニスルト云フコトガ一ツノ方法デアリハシナイカ、例へば候補者ノ政見シテシマフテ、總テノ設備ヲシテ貴フト云フコトガ一ツノ方法デアル、或ハ立會演説等ノ會場ノ設備、斯様な選舉ノ運動ニ關スル總テノ重要ナル方法ヲ公營ト致シマシテ、要スルニ候補者ガ運動スルト云フノハ唯定メラタル場所、定メラレタル時ニ於テ演説ヲスレバ宜ヒト云フコトニ止メルノガ最ノ肝要デアリシナカト云フ議論ガアルノデアリマス、此點ニ付キマシテ、政府御考慮ノ末御實行ニナルベキ御意思ガアリマヤ否ヤト云フコトヲ伺ヒタインデアリマス、ソレカラ今一ツ第四ニ御伺ヒ致シタインハ、政府ノ保護又ハ監督ヲ受ケル各會社及ビ其役員ヨリ政黨ニ寄附ヲ禁ズルト云フ法制ヲ設ケルノ意思ガアリヤ否ヤ、是モ先刻申上マシタ通り、政黨ガ選舉ヲ致シマスル場合ニ於テ、非常ナル多額ノ金ヲ要シスルカラシテ、已ムヲ得ズ手近イ所ノ、政府ノ監督若クハ政府ノ保護ヲ受ケル所ノ會社、若クハ銀行ト云フモノカラシテ、或

演口内閣、大養内閣ノ選舉ニ於キマシテモ
與黨ハ絶對多數ヲ取ルノデアリマス、政府
ガ變レバ以前ノ地方官ハ殘ラズ首ヲ切ラレ
テシマシテ、サウシテ自分ノ味方ヲスル所ノ
浪人ヲ採用シテ又元ノ通リニスル、代ル代
ル更迭毎ニ斯様ナコトガ行ハレルト云フコ
トガ地方政治ノ亂創ハ勿論、選舉ノ干涉ヲ
誘起スル誠ニ嘆カハシイコトデアリハシナ
イカ、是ガ爲ニ選舉ニ於キマシテハ國民ノ
總意ト云フモノガ全ク壅蔽セラレルトニ
ナリマス、故ニ勝チ誇リ蔵庫ラレルコトニ
横ナル行動ヲスル、勝テル政黨、政權ヲ握ラ
テ居ル政黨ニ關スル者デナク、殆ド人ニ
モ血氣ノ盛ナル者ハ之ヲ憤慨シテ或ハ兇暴
非ラザルヤウナ、平氏ニ非ズンベニ非ズ
ト云フヤウナ狀況ヲ呈スルト云フコトハ誠ニ
ニ嘆カハシイ次第デアリマシテ、世間ノ人
違ハ之ヲ掣霆イタシテ居リマス、又其中ニ
ナル手段ニ出ルト云フヤウナコトヲ誘致ス
ル、悲シムベキ事實デアルト信ズルノデア
リマス、此弊害ヲ矯正シマスル爲ニ、先程申
上ゲマシタ選舉革正審議會ニ於キマシテ事務
官ノ地位ヲ保障スルト云フ案ヲ立テラレタナ
デアリマス、其方法トシマシテ致正ナルノ
委員ノ組織ヲシテ、地方官、其事務官ヲ黜陟
スル場合ニ於ハ主務大臣ガ之ヲ委員會
諮詢ヲスル、理由アリト認メタル場合ノ外
ハ置ニ黜陟ヲシナイト云フコトニ致シマシ
テ事務官ノ地位ヲ保障イタシマスレバ、假
令不法ノ命令ヲ長官ガ出シマシテモ、命令
不法ナリトスレバ之ニ聽從スル必要ガアリ
マセヌ、聽從シナクテモ其行爲ガ正シケレ
バ委員會ニ於テ之ヲ決シテ免職、若クハ其
他ノ事ニハ同意ヲセラレナインデアリマス
ルカラシテ、長官命令不法ト認メレバ財
シテ干渉等ノ活動ニ出ル氣遣ヒハナイト
フ、併シ此制度ハ誠ニ宜シノノデアリマス
ルケレドモ、之ヲ實行スルノニ其時機、其
場合ガドウデアラウカト云フコトヲ非常ニ
心配サレタノデアリマス、例ヘバ甲ノ黨派
ガ政權ヲ握テ居ル場合ニ於テ其任命シタ
ル事務官、此場合ニ此制度ヲ實行シマス、
事務官ノ地位ノ保障ノ制度ヲ實行シマスト
云フト、其政黨ノ政府ガ任命シタル事務官
其儘ヲ残シテシマハナケレバナラヌ、次ノ
位ヲ保障サレテ居ル役人全部ハ前内閣ノ任
命デアテ前内閣ノ與黨同様ナル官吏ニア
ルト致シマシタル場合ニ於テハ、容易ニ之

不正ナル命令ト謂ハズ、ドウシテモ之ヲ動カスコトガ出來ナインデアリマスルカラ、殆ド如何ナル正當ナル命令ト謂ハズ、コトガ出來ナイト云不都合ガ生ズルノデアル、民政黨ノ時代ニ於テ之ヲ行フモ不可アルベ、政友會ノ内閣時代ニ於テ之ヲ行フモ不可アル、是ニハ實時代ニ於テ居ツタノデアリマス、幸ニシテ今回ハ政黨ニ偏シナムイ、齋藤閣下ノ内閣ハ所謂協力内閣ト申シマスルカ、一致内閣ト申シマスルカ、殊ニ此制度ヲ實行スルヨリ外其時ハアリマセヌ、若シ……望ムコトデアリマスルケレドモ、他ノ政府ガ代リマシテ、元ノ政黨内閣ニデモナリマシタ場合ニ於テハ、最早此制度ノ實行ハ困難デアラウト存シマス、之ヲ實行スルノハ現内閣、齋藤子爵ノ内閣ヨリ外實行スベキ場合方ナイト考ヘルノデアリマスルカラシテ、此點ハ是非トモ閣下ノ内閣ノ御質問ニ對シテ御答へ致シマス、政界廓清ノコトニ付キマシテハ、過日モ此處ニ登リノコトニ付キマシテハ、過日モ此處ニ登リス、右ハ箇條ノ御質問ヲ申上ダマスルカラ、ドウカ成ル條ベク御留意アリマシテ、明瞭ナル御答辯ヲ下サルヤウニ御願ヒ致シマス、是ハ御参考ニ御覽入レマスルガ、例ノ選舉革正審議會ノ答申デアリマス、内閣ニ御持チノコトト存ジマスカラドウカ……

(國務大臣子爵齋藤寅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(子爵齋藤寅君) 只今ノ關君ノ御質問ニ對シテ御答へ致シマス、政界廓清ノコトニ付キマシテハ、過日モ此處ニ登リマシテ述べマシタ通リノ次第デアリマスガ、極力其コトヲ考究イタシマスル積りデアリマスガ、御承知ノ如ク就任マダ日淺ク致シマシテ、具體的ニ此處デ述べマダニ達シテ居リマセヌノデアリマス、左様御答申ヒテ願ヒト思ひマス、其他項目ヲ舉ケテシテ内務大臣ノ所管ニ屬スルコトガ多イ又御趣意ノアル所ヲ能ク了解イタシマシタガ、項目ヲ舉ゲテノコトニ付キマシテハ、主トシテ内務大臣ノ所管ニ屬スルコトガ多イト考ヘマスカラ、内務大臣ヨリ御答ヲ致ストコトニ致シタイトイ思ヒマス

(國務大臣子爵山本達雄君演壇ニ登ル)

○國務大臣(男爵山本達雄君) 只今關君ノ御質問ニ對シマシテ、第一條ニ於キシテハ只今總理大臣ヨリ御答ヘ申シタルマシテ、内務大臣ヨリ御答ヲ致ス

ト、又選舉ニ於キマシテ公營ハ如何ト云フ
コト、此ニツニ付キマシテハ只今モ丁度選
舉法ノ改正ニ付テノ委員モアリマシテ、ソ
レゾレ調べテ居ルヤウデゴザイマスカラ、
此時ニ於テ此第二ト第三ノ事柄ヲ十分ニ參
考ト致シマシテ、選舉法ノ改正ヲ致シタイ
ト存ズル次第テゴザイマス、ソレカラ第四
ノ政府ノ保護又ハ監督ヲ受クル各會社及其役員
ノ政黨ニ附テ禁ズルノ法制ヲ設ケル各會社、其
役員ヨリ政黨ノ寄附ヲ禁ズルノ法制ヲ設ケ
ラル意アリヤ否ト云フコト、是が政府
ノ保護又ハ監督ヲ受クル各會社及其役員
ノ政黨ニ附テ禁ズルノ法制ヲ設ケルナ
ヤニ付キマシテハ、篤ト参考トシテ考ヘタ
イトイシテマス、第五、水利權(鐵道、
竝ニ鐵道敷設権)其他權利ニ關スル許可、憑
可ヲ與フル場合ニハ、特別、獨立、委員會
ヲ設置シテ、其審議ヲ經セシムルノ制ヲ設
クル意思ナキヤ、各種權利ノ許可ニ當リ最
モ公正ヲ期スベキコトハ申ス迄モナイコト
デ、政府モ此コトニ付テハ十分ニ念ト致シ
テ居リマスガ、特別ノ委員ヲ設ケテ、サウ
シテ審議ヲ經セシムルノ制ヲ設ケルト云フ
コトニ付キマシテモ、今後尙ホ十分ノ考慮
ヲ致シタイト思フノデゴザイマス、第六、地
方長官、官吏、警察署長ノ選任ニ付テ、政
黨臭味ノ濃厚ナル者ヲ廢シテ、純真ナル人
ヲ登庸スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテ
ハ、先刻上山君ノ御質問ニ御答ヘ申シ質問
キ精神デアリマシテ、尤モナルはハ御質問
トシテ大ニ頃聽シテ居ルコトデアリマスル
カラ、此精神ニ依リマシテ十分ニ其方ハ公
平ニ致シタイト思フノデゴザイマス、續イマ
テ此地方官及事務官、警察官ナドノ身分
ヲ保障スルト云フコトニ付キマシテハ、政
府ニ於テモ成ルベク此際ニサウ云フ方ニ
向テ進ミタイト思ウテ居ルノデゴザイマ
ス、是モ如何ニモ御同感デゴザイマスガ、
只今此處デ斯ク致シマスト云フコトヲ御答
ヘ申スコトハハキリト申上ゲ兼ネルノデゴ
ザイマスソレハ惡シカラズ御了承フドウ
ゾ願ヒマス、是デ御答ハ濟ミマシタ
○議長(公爵徳川家達君)、是ニテ本日へ延
會イタシタイト考ヘマス、次ノ議事日程ハ
決定次第通知ニ及ビマス、本日ヘ是ニテ
散會イタシマス

Digitized by srujanika@gmail.com